

訓令

陸軍工兵大佐 小島 好問

今般砲塔ノ製作監督ノ爲メ獨佛兩國へ被差遣候ニ就テハ
左ノ諸件ヲ服膺スヘシ

一 總シテ契約書諸條項ヲ嚴密履行セシムルハ勿論尚其ノ
細部ニ就テハ常ニ砲塔使用上ノ便宜ヲ考慮シ會社ト
熟議ヲ遂ケ苟モ欠点ナカラシムルコトヲ期スヘシ

二 着歐ノ後ハ先ツ獨國克爾布會社ニ至リ製作ニ着手シ得
ル迄ノ指道ヲ終ハリ次テ佛國「センシヤモン」會社ニ至ルヘシ

三 「センシヤモン」會社トハ是迄數回交渉ヲ重ヌルモ注文要領中
一二誤解アリシモノカ今尚要領ヲ得ルニ至ラス故ニ彼ノ地ニ至リ
親シク交渉ノ上彼我ノ意ヲ疏通シ能ク我カ注文ノ要旨ヲ

四 理會セシメ以テ適當ノ製作ヲ爲サシムルコトヲ計ルヘシ
 センシヤモンニ會社ト交渉不調ノ点ハ專ラ掩蓋ノ厚サニ在リ

此厚サハ克爾布會社ニ注文ノモノト著シキ差違ナカラシムル
 ヲ要ス掩蓋鉞ノ數ハ貳個トスルヲ望ムト雖尾工場設備景
 況ニ依リ止ムヲ得サレハ「センシヤモン」會社慣用ノ方法ニ從
 ヒ三枚ニ分ツモ妨ケナシ

五 前項ニ関シ交渉調訂ノ上其旨速カニ電報スヘシ又若シ
 交渉不調ノ場合ニ電報ヲ以テ何分ノ指揮ヲ請フヘシ

六 兩會社トモ既ニ製作ニ着手シタル後ハ時々兵器本廠ヨリ
 派遣ノ監督將校ト協議シ砲塔全体ノ機能ヲ充分完備
 セシムルコトニ注意スヘシ

明治三十六年八月十九日

築城部本部長兒玉德太郎